



堀場製作所OB会

# 会報

通巻30号

発行日 平成23年7月29日

発行者 堀場製作所OB会

川越 幹

編集者 山本広太郎

## ◆第15期第2回定例幹事会

・レジャー例会 … 桜満開三井寺・近江神宮

## ◆第15期第3回東京支部定例会

・レジャー例会 … あじさいの三室戸寺・平等院

## ◆クラブ活動報告

・一泊旅行…山中温泉 よしのや依緑苑  
・東京支部一泊懇親会

- ・山遊会
- ・ビデオ・カメラクラブ
- ・グランドゴルフクラブ

## ◆会員寄稿文

- ・京都一周ウォーキング…………… 海野興一郎
- ・思いやりとボランティア考… 梶並 強平
- ・OB会春の懇親会に出席して… 田中 利典
- ・間伐に参加して…………… 高田 康光

## ◆堀場OBボランティア部会

- ・第37回鴨川を美しくする会主催「鴨川茶会」に参加
- ・定例「鴨川クリーンハイク」に参加

## ◆OB会連絡

- ・新入会員紹介
- ・メールアドレス登録のお願い
- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・OB会年次総会及びOB会設立15周年記念式典のお知らせ
- ・OB会員の諸行事への参加とご要望等について

## ◆堀場OBキャリア活動

- ・KSUV活動状況
- ・京都モノづくり殿堂・モノづくり工房学習について

## ◆ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

## ◆OB会行事報告

- ・春の懇親会（がんこ二条苑）

## ◆編集後記



### ブライアンさんの曲面絵画

桐野茂さん懇意の画家、ペルー生れのブライアン・ウイリアムスさんの絵です。同氏は日本の自然と人の暮らしに感動し、30年以上も日本に住み続け、現在は大津市の伊香立で、琵琶湖の美しい風景を描いておられます。

今回清水寺の舞台にて曲面絵画で世界遺産を描いた作品十数点を展示されました。

尚、クリスタル光学の玄関にも一枚掲げられています。

## 定例幹事会

### 15期第2回定例幹事会

第15期第2回定例幹事会が平成23年6月10日(金)午後2時からOB会室にて、幹事全員の出席のもとで開催されました。

今回のメインテーマは、既報のとおり、10月6日に開かれるOB会年次総会と同日開催の「堀場製作所OB会設立15周年記念式典」について、式典準備プロジェクトの案に基づいて検討しました。

当日の流れの概要としては、午後からスタートし、堀場社長の会社近況報告に引き続き年次総会を済ませて、記念式典を開催、最高顧問のお祝いの言葉、OB会功労者への感謝等を行います。最後に恒例の懇親会となっています。その他式典の記念品やその他詳細について検討されました。今回は可能な限り多数の会員の参加となる様PRするとともに、会員の皆さまの大いなるご協力をお願いすることになりました。

キャリア部会活動については、同プロジェクトから進捗状況が報告され、「京都モノづくり工房学習」を会社広報部から移管を受け、OB会の今後の主要行事として、9月から実施することになりました。それも

出来れば子供たちが組み立てたものを持ち帰ることが出来る教材も併行して検討することになりました。

これに関して東京支部でもpH計を使った学習ボランティアを実施の提案が出ています。

その他、今期の残スケジュールに沿って、ボランティア活動、教養・レジャー活動、夏の懇親会の実施等の確認が行われました。(諸活動の速報はホームページに掲載)

尚、上記活動に必要なOB会の予算の進捗状況も円滑に推移していることが、会計幹事から説明がありました。

また、来第16期の活動案と予算案についても、至急作成することになりましたが、これも皆さまのアイデア及び諸活動への多数の参加が基本ですので、ご協力をお願いします。

・出席幹事(敬称略)

川越 幹、小谷昌男、山本広太郎、  
田中光子、梶並強平、酒井俊英、船越健、  
石黒英憲、森山晶成、谷口義晴(東京)

## 東京支部定例会

### 15期第3回定例会

東京支部は5月12日(木)13時より堀場製作所TSOエクセレントルームにて久し振りに15期第3回定例会議を今年もOB会幹部(山本副代表)に来ていただき開催いたしました。

第3回の定例会は当初4月7日(金)に開催予定をしていましたが、3月11日の東日本大震災の発生があり、大きな余震が続き、計画停電が実施され交通機関の乱れ、グループによる停電、物不足等が頻繁に続き会議を開催するどころでは無く、毎日の生活で精一杯だったので、早めの判断で5月12日に延期致しました。

OB会幹部、川越代表幹事、山本副代表幹事より早々とお見舞いの連絡を頂きました、有難うございました。東京支部の会員の皆様の被害は少なかったよ

うです。栃木では屋根瓦が破損、埼玉では植木鉢が割れた程度で、千葉では断水が発生しました。

定例会は山本副代表より堀場OB会15期の活動方針として、楽しく活動を活発にして社会及び企業に貢献したいと、行事、活動状況の詳しい内容、OB会入会状況、幹事の若返り等資料により説明を頂きました。活発な活動状況が良くわかりました。

今年は堀場OB会設立15周年記念式典が10月6日に開催され、現在、式典内容を検討中で、東京支部からも多数参加してほしいと要望があり、早急に参加者を纏める事にした。

モノづくり体験の実験内容の話題があり、また、合同旅行の検討等要望が出された。続いて6月3日～4日の東京支部の一泊旅行について海野副幹事よ



り、ゴルフについて谷口幹事より説明された。

東京支部の16期の活動内容として、定例会4回(9月、12月、4月、7月)と研修会(6月開催)、懇談会(9月8日開催)の予定が幹事より説明があった。

時間が無くなり討議が十分出来なかったが、場所

を替え懇親会を行いました。話が遅くまで続きました。

・出席者(敬称略)

山本、寺西、辻川、土屋、草鹿、玉置、横井、海野、新井、谷口

## クラブ活動

### 山遊会

#### — 第16回例会 —

- ・実施日 : 平成22年11月26日(金) ・晴
- ・行先 : 金比羅山(572.7m)・翠黛山(577m)
- ・参加者 : 池田 俊明、萩原 孝一、下川 和子、森本 順孝、倉原 政治、丸山 博

京都バス17系統大原行、京都駅発8時25分に乗り合わせ9時30分戸寺駅で下車。京都一周トレイルコースを辿り江文神社に10時着。参拝ののち登山開始、杉林の中を行く。途中江文峠からの登山道と合流し、10時30分琴平新宮社で小休止。ここからジグザグの急坂を登り尾根道にでた。右手に5分ほど降ればロッククライミングの岩場だ。

ここは京都岳人のロッククライミングのメッカで、昭和63年の京都国体登攀競技会場にもなっている。

残念なことに池田さんの体調が優れず、ここから引き返すことになり、丸山さんが付き添い一緒に下山する事態となった。4名で行程を続けることにして、とりあえず記念撮影を1枚。尾根道を北へ進み、丁字路を左に折れて奥社で市街の展望を楽しんだあと、11時20分金比羅山山頂に到着。展望はなく昼食には少し早いため、記念撮影を済ませて翠黛山



を目指すことに。丁字路まで戻り急坂をくだり、ピークを1つ越えて翠黛山に12時20分に着いた。落葉が厚く道を覆い、分岐点が分からず下山道へ迷い込んだため、余計な時間を費やした。記念撮影ののち昼食。13時「得心が行かない」ともと来た道をもどり、道標が落ちている場所を見つけ納得、焼杉山に向かう。13時40分百井から大原への道と合流する峠にでた。

ここから焼杉山までピストンするには2時間近くを要するため、またの機会に取っておくことにして、道を右にとり大原へ下山することで衆議決定。14時20分寂光院で小休止したあと、大原の里の紅葉を堪能しながら、15時前に大原から京都バスに乗車、国際会館から地下鉄に乗り換えて帰路に着いた。

## － 第17回例会 －

- ・実施日：平成23年4月16日(土)・曇
- ・行先：金勝アルプス 竜王山(604.7m)
- ・参加者：池田 俊明、萩原 孝一、森本 順孝、  
下川 博司、倉原 政治

午前7時50分京都駅びわこ線ホームに集合し、8時07分発米原行快速に乗車、8時33分栗東駅で下車。直ちにこんぜシャトルバスに乗り換え終点金勝寺へ。9時20分バスを降り良弁大杉を見、続いて志納金一人500円也を納め金勝寺を拝観。パンフによると聖武天皇の勅願により、平城京の鬼門を守る国家鎮護の祈願寺として良弁が開基したのが始まりとある。

9時50分金勝寺を後に舗装道路の上り坂を行く。10時20分馬頭観音堂へ、ここから地道となり竜王山へ向かう。10時30分山頂に到着、記念撮影ののち10時50分白石峰に。コブシに似たタムシバの白い花が峰々を斑に染めている。鶏冠山までは少し距離があるため、耳岩・天狗岩をピストンすることにして、11時耳岩へ途中天狗岩を背景に記念撮影して11時20分天狗岩岩上に立つ。奇



岩を配した周辺の尾根筋や三上山の遠望を楽しむ。

ここで昼食を予定していたが、北西の風が冷たく長居を避け引き返すことに。11時45分耳岩まで戻ったところで昼食とする。12時15分出発、白石峰から狛坂寺跡へ降る。12時45分狛坂寺跡にある狛坂磨崖佛を拝して13時5分南谷林道出合にでた。

林道を40分下ったところにある逆さ観音の東屋で小休止、更に少しくだりオランダ堰堤に。これは明治22年オランダ技師によるもので割石積堰堤としてはわが国最古のものとか。14時15分上桐生バス停に着いたが、残念にも土・日は14時発の後15時までバスがなく待たされるはめに。それでも京都駅に15時55分に帰着し早めの解散となった。

## － 第18回例会 －

- ・実施日：平成23年6月3日(金)・曇時々晴
- ・行先：小野村割岳 (931.7m)
- ・参加者：下川 和子、萩原 孝一、下川 博司、  
丸山 博、中村 正博、宇野 久二男

当初5月27日を予定していたが、早い入梅と予想外の台風の影響などもあり順延する。幸い梅雨の晴れ間となり、新緑の快適な山行を存分に味わうという好運を得た。午前7時30分出町柳駅前に集合し、7時50分発京都バス広河原行に乗車、1時間40分左京区内を北上し終点の広河原に降り立った。

今回亀岡からバイクで広河原に駆けつけてくれた

オブザーバー参加の宇野さんと合流して、9時50分バス停を後にした。広河原スキー場を左手に車道を少し歩き、上桂川源流域の支流沿いの旧道に入る。前週の台風崩れの風雨の影響か、道らしきものが僅かに分かる程度に荒れ、いくつか流れた橋を横目に渡河を繰り返し、小1時間を要してようやく佐々里峠に着いた。

石室の祠の前で水分補給。本来ここから灰野まで川に沿って降ってゆくのだが、いまはすぐ右手の山腹にアルミの階段があり、5・6段上がったところに新しい道がつけられていた。10時55分灰野への標識を確認して出発、20分程で小野村割岳への分岐で右に折れ11時25分標高840mのピークを通過。左京



区と南丹市の境界となっている尾根道に沿って東進する。伏条台杉の巨樹が点在し、豪雪にも負けず折れ曲がった幹をそれでも空に向かって伸びるたくましい木々をカメラに納める。12時15分稜線の途中で昼食休憩とする。30分後出発、標高911mの少し開けたところに落雷で空洞になった大杉を見て、14時15分山頂に到着した。記念撮影を済ませ、10分ほど休憩して早稲谷に向かう尾根の急坂を慎重に降る。14時40分過ぎ林道にでた。廃道化し倒木が散乱する荒れた道をひたすら降る。16時

30分下之町バス停に着き本日のコース終了。17時5分出町柳駅行きのバスに乗り、遅い帰宅となった。



## ビデオ・カメラクラブ

今回の作品群は、OB会レジャー例会と同行して、平成22年12月2日(木)の日吉大社、延暦寺への紅葉狩り、及び平成23年4月13日(水)の三井寺、近江神宮への残り桜見物にて撮影した作品及び、各クラブ員の自由作品を展示させて頂きました。ご覧になって頂き忌憚のないコメントをお願いいたします。

(ホームページに全作品を掲載していますのでご覧下さい) 川越 幹



富士山頂の落日(萩原 孝一)



平安神宮の鳥居の橋(山田 昌美)



お堂の桜(川越 幹)



流鏝馬神事(西尾 勝治)



## グランドゴルフクラブ

グランド・ゴルフクラブは、例会として森ノ宮公園での開催の他、年2回程度、大津の帰帆島グランドゴルフコースで開催。今回は、6月29日（水）に梅雨の中休みの蒸し暑い中、7名のメンバーが元気よく参加して開催されました。

帰帆島グランドゴルフコースは、日本グランドゴルフ協会の公認コースで、4コース64ホールと大変スケールの大きい素晴らしいグランドゴルフ場で、グランドの緑が素晴らしく、きれいに整備されており、他府県からも多くの方が、訪問され、グランド・ゴルフを楽しんでおられます。当日、当クラブは、11時20分よりゲームをスタートし、午後2時40分まで3ゲームを行い、心地良い汗を流しながら思う存分グランド・ゴルフを楽しむ事が出来ました。

グランド・ゴルフは大変シンプルなゲームでローコストでそれでいて、熱中出来る遊びです。

道具もクラブで準備していますので、気楽に

参加して頂けます。次回の開催はこの秋頃を予定しています。多くの方のご参加を期待しています。

これからグランド・ゴルフをやって見たいと思われる方は、例会開催のご案内を致しますので、クラブ幹事の梶並強平さん(090-2385-3970)へお電話下さい。



## 堀場OBボランティア部会

### 鴨川を美しくする会主催

### — 第37回「鴨川茶店」に参加 —

初日(4月9日土曜日)は前日からの雨、当日の朝も小雨で中止の決定は8時で集合は7時半のため集合場所に行くと、若者が大勢集まって来たが、すぐに何処かに行ってしまった。雨の中で様子を見ながら、8時に携帯電話で連絡がとれ、雨は止む予報なので開催するとの返事で皆が揃うのを待った。9時ごろになりやっと鴨川茶店などの準備が始まり、こちらも4人全員が集まり、帽子・腕章などをやっと受取り警備の服装となり、必要に応じて交代しながら警備や案内などを始めた。担当のモニュメント前広場には駐車禁止の表示があっても早朝から駐車しようとする車があって、ユニホーム姿になるまでは駐車禁止のお願いに困った。

雨が止み植物園が開くと人が来始めるが人出は

少ない、鴨川開店は11時から15時半までで、11時前に府警平安騎馬隊の大型車両が来て駐車場で馬2頭下ろし、婦人警官が乗馬し近くの河川敷で写真撮影が行われた。今日1番の仕事で駐車場の確保が出来て皆一安心した。今年の「なからぎの道」のし



だれ桜は七分咲き程度で少し遅いようで、午後に入出も少し多くなってきた。午後には河川敷の鴨川茶店通りは大勢でより賑わってきたし、川向かい右岸のソメイヨシノは満開で大勢の花見客で賑っていた。午後1時過ぎからは下鴨中学吹奏楽用の機材運搬車など関係車両の駐車管理を行った。吹奏楽の演奏も近くの河川敷であり大勢の聴衆が集まった。鴨川茶店内の茶席で「花より団子」でお茶と団子の接待を受け休憩する、また近くにはステージがあり尺八やお琴の演奏も行われていた。

モニュメント広場は鴨川茶店から離れているが出入り口のため、トイレ場所や自転車・バイク置場や交通機関など色々と案内した。午後天気が好くなったので鴨川茶店も1時間延長され、16時半に事故や問題も無く警備を終了し、会場事務局の責任者に報告し明日への装備の引渡しを依頼した。4人とも長時間の慣れない警備で足腰の疲れが出たようだった。

2日目は、朝から好天にも恵まれ、朝11時の鴨川中学のブラスバンドの楽しい演奏から始まり大勢の来場者で大賑いで、交通安全の役は無事

に終える事が出来たが、植物園の桜のライトアップが最後の日と言う事も一つの理由かも知れませんが入場するマイカー、観光バスが始めから終了する4時になっても、渋滞が止まらず、北大路通りの方まで続いていた。好天の御蔭で日にも焼けて、お疲れ様でした。

1日目に参加いただいた池田さん、萩原さん、宮崎さん、森山さん、2日目に参加いただいた小谷さん、酒井さん、永瀬さん、船越さん、ご苦労さまでした。



## 鴨川を美しくする会主催 -23年度第2回鴨川クリーンハイクに参加-

「鴨川を美しくする会」に堀場OB会が参加して4年目となる平成23年4月29日(祭)に「鴨川定例グリーンハイク」が行われました。

今回は小谷昌男、永瀬貞一、池田俊明、周田光男の4名が参加しました。学生班(床下疎水清掃)を含めて総勢90人が五条大橋から丸太橋まで、私たちは左岸の清掃活動を行いました。

「クリーンハイク」の名のとおり、美しい鴨川の風景を眺めながらの「ゴミ拾い」は健康にもよく、改めて“京都の素晴らしさ”を実感いたしました。

川面には30cmを越える魚が数十匹、群れをなし、皆さんが驚いていました「鯉」でしょうか？日頃は気にしていない可愛い草花や生き物にも触れ、自然の移り変わりも感じることができました。



「京の川」の代表である鴨川は毎年整備が行き届き、見た目は美しくなっていますが「ポイ捨て」は相変わらず目立ちます。京都人のマナーが問われます。私たちの活動が市民の皆さんの目にとまり、ポイ捨て防止を期待しています。

私たちは「ゴミ」を拾いながら、環境問題やボラン



ティア活動など日頃の話題などを話しながら歩いていると「ゴール」に気づかず、行き過ぎている事に気

がつき、あわてて引き返すハプニングもあり、意義ある一日でした。会員の皆様の参加を期待しています。

## 鴨川を美しくする会主催 -23年度第3回鴨川クリーンハイクに参加-

平成23年6月5日(日)4月の参加に引き続き今回は、周田、永瀬、川越の3人が参加しました。コースは、五条大橋から丸太町橋までで、鴨川兩岸を多数のボランティアが清掃ハイキングを行いました。

今回変わったところでは、オールブラックのユニフォームで身を固めたファミマのシンジケート数十人もの大量参加があり、左岸は彼らに任せられました。岸には、たいていコンビニの袋が捨てられているので、彼らには良い経験となったことでしょう。

我々は右岸を廻りましたが、常連のグループの他、若い人々、親に連れられた小さな子供も参加するなど楽しい雰囲気の中で作業が出来ました。

当クリーンハイクも継続して参加していますが、観光客等のマナーも徐々に向上してきている



のでしょうか、当初よりもゴミ等が少なくなっている様に感じました。我々3人は11時半ごろ終点の丸太町橋に到着、ゴミ袋を置き、ハイクを終えました。そして快い疲れとともに帰路につきました。今年は、このあと8月、10月、11月と参加スケジュールが決まっており、始めての方も是非とも参加下さい。

## 堀場OBキャリア活動

### KSVU (NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会) 活動状況

会報28号で、KSVUの事業概要をお伝えいたしましたが、今回は平成22年度の実績と平成23年度の事業計画について報告させていただきます。

#### 【平成22年度事業・活動実績】

①京都市中小企業応援センターの活動に参画、新現役(企業OB人材)の活用による中小企業支援。

◆実績 申込み件数22件 成約件数15件  
教育・セミナー11件

②京都府地球温暖化センターと連携してKSVU省エネ研究会の25名が中小企業の省エネ診断と改善指導事業。

◆実績 京都府内中小企業 36社に省エネ診断と改善指導

③京モノづくりの殿堂・工房体験学習支援活動に73名のモルンジャー登録を行い京都発の企業のモノづくりを京都市内の小学生に指導・支援を行う。

◆実績 京都市内小学校49校 3,086人  
モルンジャー活動延べ223人

④その他の活動

・企業見学会:日本写真印刷(株) 京セラ(株)  
・講演会:海を越える看護団 大原千沙子  
:これからのモノづくり産業

ローム常務 高須開発本部長  
:京都市の教育改革

堀川・西京の奇跡 高桑三男教育長

⑤その他



- ・ヒアリーハット情報(京都府)
- ・海外展開・オープンイノベーション調査  
(KIAC活動)

### 【平成23年度事業計画】

- ①「中小企業支援ネットワーク強化事業」の推進(近畿経済産業局)  
京都市のプラットホーム事業をASTEMと連携して中小企業・ベンチャー企業の経営・専門技術のコンサルティング・人材育成を行うOB人材の発掘と中小ベンチャー企業の要望へのマッチングを行う。(目標50件)
- ②京都府地球温暖化センターと連携した省エネ調査・改善指導(京都府)
  - ・京都府内50事業所を目標、省エネ研究会25名が参画
- ③「大学発掘技術シーズの活用支援事業」(京都市)
  - ・大学のシーズと中小企業との連携支援事業をASTEMと連携して実施
- ④京モノづくりの殿堂・工房体験学習支援活動
  - ・京都市内70小学校生4,500人の指導予定
  - ・モルンジャーを84名に増員

- ⑤ヒアリーハット情報活用指導員(京都府)
  - ・8月度より26団体に指導・支援活動を実施予定
- ⑥京都OB人材を活用した『被災企業支援サポート事業』(京都市)
  - ・KSVUを中心とした豊富な人材を被災地等に派遣し、現地で事業活動を再開・復興を目指す被災企業の多種多様ニーズを把握しオール京都企業からの提案を募り、マッチングを図る。すでに被災地(宮城・仙台福島)調査を実施
- ⑥「OB人材等紹介システム構築モデル事業」(日本立地センター受託事業)
  - ・国においては「OB人材紹介システム」の構築を検討されており、本事業は当該紹介システムの中核となる企業OB人材のデータベースのモデルを策定する。KSVUにて調査・データ化を図ります。
- ⑦ その他の予定
  - ・講演会、企業訪問を計画KSVUは、色々な挑戦・活躍しようとしております。堀場OBベンチャークラブからの積極的な活動参加をお願いします。堀場OB会も15年の歴史があります。ぜひ堀場OBの凄い力をKSVUに注いで下さい。

## 京都ものづくり殿堂・モノづくり工房学習について

平成21年2月にモノづくり企業創業者の生き方やモノづくりへの情熱等を展示する「京都モノづくりの殿堂」と殿堂に関連するモノづくりの体験学習を行う「モノづくり工房学習」が「京都まなびの街生き方探究館」に開設され、活動内容については会報28号に掲載されています。

堀場OB会は平成21年度より堀場製作所(担当部署:コーポレートコミュニケーション室)の体験学習(PH測定)のアシスタントを担当してきました。

OB会ではこの度、工房学習の運営を堀場製作所から受託、OB会の事業として取組む事になり、9月以降の工房学習を担当します。

工房学習は、授業担当2名とアシスタント2名の4名構成で運営します。

授業担当はスキルが必要なため経験のある石黒さん、周田さん、船越さん、酒井さんの4名に担当をお願いし、アシスタントはキャリア部会登録のメンバーが担当します。

平成23年度の計画として70小学校の生徒4,500人を対象に工房学習が計画されており、堀場担当の工房学習回数も増える予定です。

今後、キャリア部会登録のメンバーだけでは対応に無理が生じるため、キャリア部会メンバーに入会いただきますようお願い致します。

事業内容の確認、キャリア部会登録については、担当幹事の酒井俊英さん(下記のメールアドレス)にお問合わせ下さい。

E.Mail sakai727@yahoo.co.jp

## OB会行事報告

### — 春の懇親会を開催 —

堀場OB会恒例の「春の懇親会」が小春日和の3月12日(土)正午から「がんこ高瀬川二条苑」において新入会員4名を含むOB会員42名と(株)堀場製作所から山下副管理本部長をお招きして開催されました。

今回は、参加者が過去最高となり、熱気に包まれた会場での懇親会となりました。

宴に先立ち、山下副管理本部長より会社近況等についてお話を頂き、引続き川越代表幹事の挨拶及び乾杯で宴が始まりました。

今回は幹事の若返りの一環として司会進行を船越幹事にバトンタッチ、船越さんの持ち味のある進行で宴が盛り上がっていました。

宴の半ばに今回、初参加された山岸さん、木下さ

ん、森井さん、田中さんより自己紹介もあり、参加者は思い思いに話題に花を咲かせ盛り上がった一時を過ごされた事と思います。

今回、体が不自由な田中さんに初参加いただきましたが、懐かしい先輩、後輩と会話が弾んだ事を感謝されていました。

最後に塚本さんにより耐震構造についての講義の後、一本締めで締めいただき、庭園に移動して集合写真を撮り成功裏に懇親会を終える事ができました。

次回の「夏の懇親会」は、8月20日(土)午後6時より開催の予定です。

今回出席されていない会員の方をお誘い合わせの上、多数参加いただきますようお願い致します。



### レジャー例会

#### — 桜満開 三井寺・近江神宮他 —

平成23年4月13日(水)絶好の花日和、参加者14名人はJR大津京駅に集合、今回はコースと食事処について、地元在住の高橋氏の企画と案内で、満

開の桜を求めて、まず三井寺に向かいました。同寺は天台寺門宗の総本山で正式名称を長等山園城寺(ながらさんおんじょうじ)と言い、滋賀県大津市、琵琶湖南西の長等山中腹に広大な敷地を有しています。また、湖国近江の名勝、近江八景の一つ「三井の



晩鐘」でも知られています。起伏の多い境内は老いの身には少しきつい散策でしたが、花と景色に魅せられて、頑張れました。

次に京阪電車にて近江神宮に移動したところ、なんと珍しいピンク色の桜並木があり、その桃色のトンネルに酔いながらそこを通り抜け、拝殿にて参拝しました。

近江神宮は、千三百年の昔の都、近江大津京の旧跡に建てられ、御祭神は第38代・天智天皇(626-671)。皇紀2600年を記念して、昭和15年(1940)に大津京にゆかりの深いこの地に昭和天皇により創建されました。毎年1月には競技かるたチャンピオンを決める名人位・クイーン位の決定戦でも有名ですね。

さすがに、「桜」については十分堪能出来ました、そろそろ腹の方が何かを訴え始めたので、今回一番楽しみにしていた高橋氏お薦めでの有名なびわこホテルだった。「びわ湖大津館」に向かいました。はらぺこで同館に到着、湖畔の素晴らしい眺めを愛でながら、十分な時間を取り、サラダバイキングとピフテキラ

ランチそしてビールにて乾杯、ゆっくりと地震の話題等の話に花が咲きました。OB会員としては、このような例会には、参加出来るときに参加しないと機会損失があるかも。

十分満足したあと、最後に同館前の「イングリッシュガーデン」に入場し、優雅な草花を見物しながらゆっくりと心を洗いました。尚ここはバラの季節が大変有名とのことでした。

全行程約1万歩以上の散策を終えても、まだ十分時間があり、皆んな本日から始まるプロ野球を楽しみにそくささと帰路につきました。まだ、一度も例会に参加していない人は、是非とも次回には参加して下さい。大歓迎です。

#### ◆参加者(敬称略)

小谷 昌男、山本広太郎、浅島 芳雄、林 收  
丸山 博、矢野 久雄、高橋 義治、川越 幹  
澤田 喜行、東 信好、萩原 孝一、永瀬 禎一、  
下川 博司、池田 俊明





## レジャー例会

### ― あじさいの三室戸寺・平等院 ―

平成23年6月23日(木) 宇治方面、今回はアジサイの名所を求めて、一行15人は、西国十番札所名刹「三室戸寺」を訪れました。梅雨で毎日が不安定な日々でしたが、幸い天気は回復したものの、現地の蒸し暑さには皆閉口しました。それでも5000坪の大庭園に咲く1万本のアジサイは、まさに見ごろで、それぞれシャッター音も盛んな様子でした。

次に1994年に平等院とともに世界文化遺産に認定された「宇治上神社」に向かって蒸し暑い中、徒歩で移動しました。同神社は、平安時代の様式を伝えた現存する貴重な建造物で、特異な屋根の形状を持ち、千年前にタイムスリップした社殿と周りの雰囲気を楽しみました。

今回のウォーキングコースの予定では、昼食は1時ごろとしていましたが、暑さのため早く涼みたいとの思いから12時には、創業100年の料亭「花やしき浮舟園」に到着しました。そして宇治川沿の涼しい大

広間で、名物の「浮舟弁当」に舌鼓を打ちました。

ゆっくりと談笑し、十分寛いだ後、近くの「平等院」とその苑内にある「鳳翔館」に移動しました。平等院は、永承7年(1052)、関白藤原頼通によって開創されたお寺で、数々の国宝があり、浄土式の庭園でも大変有名で、世界文化遺産になって世界から見学者が絶えません。2001年には、以前の宝物館が「平等院ミュージアム鳳翔館」としてリニューアルされ、大変見ごたえのある展示館となりました。今回の例会は、季節柄あまり無理をせず、ここで早めの解散となりました。なお秋にはもみじの名所を巡る予定ですが、会員の皆様からのご提案と多数のご参加をお願いします。

#### ◆参加者

川越 幹、小谷 昌男、下川 博司、小谷 晴夫、  
矢野 久雄、高橋 義晴、周田 光男、林 収、  
丸山 博、池田 俊明、東 信好、田中 光子、  
森山 成晶、西尾 勝治、山本広太郎





## 一泊旅行 一冬の山中温泉一

平成23年2月17日～18日、堀場OB会の一泊旅行が開催され、一行23人は北陸の山中温泉「よしのや依緑園」への旅行に参加しました。

この宿は、NHK「ルソンの宿」でも紹介された話題の「湯快リゾート」グループの中に有名旅館の加盟により誕生した「湯快倶楽部」の宿で設備、宿泊部屋、温泉等申し分なく大満足でした。皆さん温泉好きで大変楽しみにされていた行事でした。週間予報では雨でしたが出発日は曇りでした。

京都駅八条口バスターミナルに集合、宿泊部屋の抽選を行い湯快リゾートのバスに乗車9時45分に予定通り出発しました。

バスの中では皆さん久しぶりの再会で話しが弾んでいいました。バスは国道1号線より北陸自動車道に入り賤ヶ岳SPでトイレ休憩した後、バスが進んで行くたびに、だんだんと廻りは雪景色となトンネルを潜るたびに白銀の世界でした、道路は除雪が進み車、バスは順調に進み停滞はありませんでした、景色で驚いたのは車中より前方の左上空に白銀の山並(アル

プス山脈かな…)が見えて感動しました。(参加してよかつた)

山中温泉に着く前に昼食タイムとして「山中グランドホテル」にて昼食をたべました。「昼食は事前予約で(3種類:黒毛和牛すき焼き御前、ブリしゃぶ御前、百万石椎茸と地ダコの陶板焼き御前)・・・大変美味しく食べました。

「山中グランドホテル」より宿泊する「よしのや依緑園」へはバスで約10分、予定通り14時20分頃に到着しました。

今夜の「宴会」は18時から、それまでは各人部屋に入り約3時間半が自由時間でしたので山中温泉のお散歩マップを見ながらの散歩と、お散歩号のフリー乗車券(2日間有効、 ¥500円)を利用して楽しまれたようです。私はあの有名な【こおろぎ橋:芭蕉や夢二など多くの文人墨客も訪れた】、【栢野の大杉:菅原神社の大杉は樹齢約2300年です】を観光しました。

18時より宴会、山本幹事の挨拶、川越代表幹事の挨拶、乾杯で始まりました、皆さんカラオケが大変上手で盛り上がりました、又、「冬の創作和食宴会飲み放



題」献立も豊富で特にお酒好きにはたまらなかったのではないのでしょうか。料理も大変美味しく頂き大満足でした。

1夜明けての出発は午後2時のため一部の方は朝早くから美術館に行かれた方、ゆっくり朝風呂につかり、お散歩号のフリー乗車券で観光を楽しまれたかたなど、カラオケ、インターネットを楽しんだり談笑で時をすごされていました。お土産コーナーでは皆さんの家庭サービスは、この時とばかりお買い求めていました。・・・(私はご近所へのお土産も含めて買いました)

バスは予定の「15時10分」出発で、途中に大きな

お土産店に立寄りその後、京都駅八条口バスターミナルへ向いました、車中は皆さんお疲れで眠っていました。バスは無事予定時間の17時15分に到着しました。お世話下さいました幹事さんやご一緒いただいた皆様に感謝します。有難うございました。

#### ◆参加者(敬称略)

浅島、池田、神吉、小谷(晴)、永瀬、萩原、西尾、西田(敏)、東、周田、小谷(昌)、平田、森本、川越、矢野、山本、下川(博)、田中、吉井、勢藤、西田、森山、丸山

## 東京支部

### ――泊懇親会――

6月3日(金)4日(土)東京支部は、一泊懇親会を開催した。

場所は南房総の安房鴨川。参加者は8名。初日は谷口氏、龍氏、新井氏で鴨川カントリークラブでゴルフ、草鹿氏、大道寺氏、玉置氏、横井氏、海野が「かん

ぼの宿 鴨川」で合流。入浴後、地元の新鮮な海産物のコース料理で夕食。翌日は近くの山の中腹にある千年杉で有名な清澄寺、郷土資料館では南房総の昔の農業、林業、漁業、商業の道具、写真のほか郷土の政治家：水田三喜男氏の寄贈品を見学。昼食は行列ができる「御食事処 池田」で、新鮮で大振りの金目鯛定食、さしみ定食で各自満腹。昼食後解散、車で参加の龍氏、新井氏の車に、ご自宅最寄り



駅まで便乗、帰宅の途についた。某参加予定の方が日程の勘違いで欠席するハプニングがあったが、初日は曇りで暑過ぎずゴルフ日和、翌日は晴れ時々曇りで観光日和、前日までの雨が嘘のよう。南房総のさわやかな風を感じ、地元の文化を学び有意義な二日間であった。

## 会員の寄稿文

### 京都市街地一周ウォーキング 海野興一郎

私は、10年程前から健康のため、休日早朝ウォーキングをしているが、所用で京都に帰った3月19日

京都市街地一周一人ウォーキングをしてみた。午前10時に近鉄東寺駅で下車、九条通を東へスタート。



京都赤十字病院前を過ぎ、東山通から五条坂の急な坂を上り、清水寺の朱塗りの仁王門前でUターン。産寧坂の石段から二寧坂、高台寺横のねねの道を過ぎ円山公園に入る。枝垂桜の老木を横目に公園を出て、知恩院三門を過ぎ、三条通を東に折れ蹴上に行くと、インクラインの台車と舟が展示されている。ところでインクラインとケーブルカーとの違いは、運搬の対象が物資と人の違いだけで、両方とも井戸のつるべ滑車の原理で引っ張る傾斜鉄道のこと。

南禅寺に入り三門を眺める。石川五右衛門が三門に上がって「絶景かな」と言ったと言われるが、実は五右衛門の死後に三門ができたとか。歌舞伎の世界の話か。南禅寺から永観堂前を越え右折、坂を上ると哲学の道が始まる。道沿いの琵琶湖疎水を見ながら北へ。おやつ? 水の流れが南から北に。京都盆地の標高は北高南低のため、全ての河川は北から南に流れるのに、なぜ。

ところで、琵琶湖疎水事業とは、琵琶湖の水を京都の灌漑、水運、水力発電、上水道に利用する明治の大事業のこと。まず水路は、琵琶湖の大津市三保ヶ崎から幾つかのトンネルを経て蹴上へ。この蹴上に琵琶湖と京都の標高差を利用して、日本初の商用水力発電所を建設。出た水路は、岡崎公園から鴨川の東沿いを南へ、伏見の濠川(伏見城の外堀)を経て宇治川に注ぐ。一方、蹴上から出た分流水路は、南禅寺の水路閣、トンネルを経て哲学の道沿いから下鴨まで敷かれている。そのため、哲学の道付近の水路は南から北への流れに。宇治川への水路は灌漑や

水運に、分流水路は灌漑、防火用水や庭園の流水に利用された。次に、途中で水力発電所があると、構造上水路が遮断されて、滋賀/京都間の水運はできなくなるが、インクラインを設けると、荷積みそのまま舟を台車に載せ、低水位から高水位へとその逆への移動ができ、水運が可能になる。このインクライン京阪墨染駅付近にも設け、ここにも水力発電所を建設。これ

らの電力でインクラインの滑車を動かし、日本初の路面電車(市電)を走らせた。その後、さらに第二疎水を敷き、蹴上に日本初の急速濾過式浄水場も建設した。以上が主な事業内容である。当時、東京工部大学校(現:東京大学工学部)の田邊朔郎の卒業論文を、時の京都府知事の北垣国道が採用。卒業後京都府に採用されていた弱冠23歳の田邊を、工事設計、監督に当らせ発展させた。その後、田邊は東京帝国大学教授、京都帝国大学教授、京都帝国大学工科大学長(現:京都大学工学部長)を歴任。北海道の鉄道建設、大阪の地下鉄建設や関門トンネル建設にも携われたとか。つるはし、シャベル、荷車しか無い時代に建設した琵琶湖疎水事業は、調べる程に今でも驚く壮大な事業であった。

哲学の道を過ぎ白川通を北へ右折、小料理屋「魚兼(うおかね)」に入る。実は堀場(東京業務)尾崎君の弟さんのお店。昼食にあなご丼を食した後、白川通から北山通を左折西へ。高野川、賀茂川を渡り金閣



寺前、金閣寺門前からきぬかけの路を龍安寺へ。龍安寺石庭を写真で見ると広く見える。それは石庭の土塀の高さが石庭の隅へ行く程に低いため、遠近法でより広く見えるとか。カメラもない時代に、それとも偶然の産物か。仁和寺仁王門を過ぎ福王子神社前を左折、天神川通を南へ。その昔、豊臣秀吉が河川氾濫時の堤防と治安のため、京都中心部を四方土

壘(御土居)で囲み(内を洛中、外を洛外)、外側に堀を設けた。その堀の一部が天神川と言うが、もっと上流の北野天満宮付近。現在、旧土居町、西土居町、土居ノ内町、西土居通の名で残る。

八条葛野大路を右折、居酒屋「さすけ」前を南下、JR東海道線高架下を過ぎ、久世橋通で左折東へ、

近鉄上鳥羽口駅でゴール。時刻は午後4時。実質約5時間40分で一周(約32km)したが、名所旧跡を歩き目線で行くと、昔と今の人々のそれぞれの思いが感じられ、京都の歴史を調べる切っ掛けにもなった。ところで歩いてみると京都は以外に狭い街だった。

## 思いやりとボランティア考 梶並 強平

私がまだ学生の頃のことであるが、ある人が、「人が生きて行く上で一番大切な事は、人への思いやりである」と言っていたが、若い頃はそれほど思慮深く生きていたわけでもなく、又当時は、まだモノが乏しく、米食券が無いと外出しても食事が出来ない時代で、良くも悪くも無我夢中で暮らしていたので、人への思いやりの心がそんなにも大切であると言うようなことを聞くにつけ、その当時は、この人は少し不思議な事を言う人だなと、くらいにしか思っていなかった。と言うのは、人が生きて行く上で、もっと大切な事が他にあるはずと言う思いがあった。

所が少し前、ある人がテレビ番組で「あなたはと言う人に魅力を感じますか」と聞かれたとき、「すべての人に思いやりのある人」と答えたのを聞いて、私が学生の頃、同じような事を聞いたことを思い出すと同時に、この思いやりの心についていま少し考えて見た。

思いやりの心は人間として生きて行く上で、「他人の心を大切に作る心」つまり、その心から出た、いたわりや思いやり、気配りのことであって、大変デリケートで温かみがある事だと思っている。

誰でも思いやりの心は持っているのだろうが、その思いやりが自分の家族に対してのみであったり、あるいは、仲のよい友達や、気の合う人や、都合の良い人だけであったりするのには、本当の思いやりではない。自分にとって、何の係わり合いもない人、利害得失の無い人にも思いやりの心を持って接する事が大切であり、これが本当の思いやりであると思うに至り、何人に対しても自分を犠牲にしてまでも、他人に思いやりを施すような事は出来ないにしても、この様な思いや

りの心で接すると世の中を和やかにして、より美しくなるだろうと思っている。

力の強い人が、力の弱い人を助けてあげる。つまり体の不自由な人や、自分とは、全く係わり合いの無い困っている人を助けてあげる。力になってあげるという事が真の思いやりだと思っている。

私は、土、日を利用して、老人センターでのデイサービスのお手伝いと、有料老人ホームと、それに一人暮らしの老人の家庭訪問に、週一回程度、ボランティアの様なものを続けて2年半になるが、ある人からは、「一銭にもならずクソにもへにもならない事をようやるワ」と言われた事があったが、言われるような損をしている気は全くなかったし、又別の人からは、





「立派な事をして、エライなア」と言われることもあったが、そんなにエライなアと言われるような気持ちは全く持ったこともない。と言うのは、私は、好きだからやってるだけで、今までお年寄り(私も78才のお年寄りになり、老・老ボランティアと言う事になるが)に思いやりの心をかけてあげようと思って、ボランティアの様なものをしているのではなく、なんとなくお年寄りに接していると気分が安まり心が癒されるからやっているだけの事であり、又それが楽しく、自分流に好きな様にしているだけの事である。

老人センター等に行つて、お年寄りと同じ時代に生きてきた老人同士と言う事で、戦時中の昔の話をしたり、へたな楽器を鳴らして歌を一緒に歌ったり(写真)、おやつの時間になったら、お茶を飲んだりして、一緒に遊んで過ごし、お年寄りを元気にしてあげられ

たらいいなと思ひ乍も、これはボランティアともいえない。自分がしたい事をして過ごしているだけのことだったが、それでもお年寄りが大変喜ぶ姿を見ると、とっても嬉しいものでした。

しかしこれからは、さらに周りのお年寄りの方に思いやりの心を持って、優しい気遣いや心配りをして、お年寄りと心とむれ合いをすれば、お年寄りを今まで以上に、より良い気持ちにさせてあげる事になるのではないかと心からそう思っている。

最近、各方面でボランティア活動をされている方がすごく多く、世の中が少しでも心とやかにになっていくのではないかと思っているが、私も今まで以上に思いやりの心で、もうしばらくの間、頑張つて見ようと思つています。

**HORIBA OB会 第15期 春の懇親会に出席して 田中利典**

最初に、東日本巨大地震に遭遇され現時点で亡くなられた、多くの犠牲者の方々のご冥福をお祈りするとともに、現時点で非常多くの行方が不明者の方々が、早く元気で見つかることを祈念いたします。

このような非常事態の中でしたが、平成23年3月12日 HORIBA OB会が「がんこ二条苑」で開催され、OB懇親会としては過去最多の出席者を得て開催されました。

ここ、がんこ二条苑は私が健常者であった時妻と、数度と無く訪れ、お庭も散策させていただいた思い出の場所でした。(がんこ二条苑の案内では、このお庭は、慶長16年(1611年)豪商 門倉了以により造られた非常に由緒ある場所で高瀬川の起点となる。)

車椅子生活が始まり、がんこ二条苑へは行くことが出来なくなつたと、諦めていましたが幹事の交渉により車椅子で座敷に上がることが許可され、会に出席することが出来非常に感謝しています。

会は、山下総務部長から堀場の現状を聞き、川越OB会会長の乾杯で会は始まりました。

今回初出席者4名が紹介された、実は私もその

中の一人として参加させていただき、懐かしい先輩諸氏や後輩と時空を逆戻り、あたたかも、現役で活動し



ていた空間に身をおいているかのような錯覚に陥っているようでした。

提供いただいた宴会部屋からは前面に紅梅が咲き誇り、それを通し小春日和に輝く美しいお庭が私たちの集まりを暖かく見守っているようでした。

最後は、多くの方に手伝っていただき、庭に出て記念写真を撮っていただいた。多分、私の過去を通し撮った記念写真で最高のものになると思います。

OB会では多くの部活が積極的に行われ、ボランティア活動でも新聞などで紹介され車椅子生活で引込み事案の私にはなかなか参加できないと思っ

ていましたが、車椅子生活でも何か役に立つ活動を模索し、OB会を通し会社や世の中に役立つことを考えて行きたいと強く感じています。

最後に、堀場製作所及びグループ各社の発展と社会における貢献をされることを祈念します。又、私たち堀場OBメンバーはホリバリアンの志を忘れず、堀場製作所とグループ各社のますますの発展に微力なりでも寄与してゆきたいと思っていることを確信いたしました。

今後ともOB方々の益々のご活躍と、ご健勝を祈念し筆を起きます。

## 間伐に参加して 高田 康光

週一回で2時間の環境を知る講座を4回受けた後、1回シリーズの環境保全活動リーダーの研修を経て、福岡市環境局長名の修了証を手にする事ができました。その後、スキルアップ講座があり、顔見知りが増えてきた頃「やりたいことが決まってないなら」と間伐に誘われました。

巻枯らし間伐による里山の再生です。荒廃森林の再生事業(エコ・アップ)のボランティアです。木が密生していて下草が生えていなく暗いから、間伐をして太陽の日差しをいれて明るい森にしようという試みでした。

今年、2013年は国際森林年であり、自然(環境)は、お互いに尊重し畏敬し喧嘩しない平和で共存できる存在です。樹木のこともずいぶん勉強しました。チェンソーの使い方も覚えました。林業技術研究所の協力も得ました。そんななかで土壌のPHを計っているツインのPH計と出会いました。懐かしさと面映ゆしさの複雑な想いが湧いてきました。しかしながら、あまりの扱い方にいろいろアドバイスをしたのがきっかけになり、堀場製作所のOBであることが判り、私が

PH測定の実行者に祭りあげられてしまいました。事務局から送って戴いた、堀場OB会の青いベストを着て作業をしています。

確かに、里山の酸性雨は進行しています。環境省の地球温暖化、COP16(気候変動枠組生物多様性条約第16回締約国会議)の説明会やフォーラムに参加して中・長期のロードマップを入手しました。これからは環境に関わっていくつもりです。低炭素化社会に向けた12の方策(主要な温室効果ガスであるCO2を2050年までに、1990年に比べて70%削減するための方策——1990年比で25%削減することは2020年为目标)を、新3K(環境、健康、交流)を育む都市コミュニティを構築しながら、何とか削減に向かっていく心づもりです。

私の住む所から、車で一時間の場所が現場の里山です。週末ボランティアなので、私としてはこれ以上増やしたくないのが実情なのですが、。。。。

今夏の予想される電力不足—計画停電のためにも、防災士との兼ね合いも含めて、益々忙しい週末になりそうです。

## OB会連絡

### —新入会員紹介—

平成22年10月以降に入会された会員を紹介します。(敬称略)

1601 — 新井 章生さん 1602 — 中村 勝美さん 1603 — 斎藤 修さん

1604 — 松井 秀行さん 1605 — 新 誠さん



## —メールアドレス登録のお願い—

皆様は日頃の生活の中で携帯メール、PCメールをコミュニケーションツールとして最大限に活用されている事と思います。

堀場OB会では、行事案内、情報交換等でメールを活用しておりますが、メールアドレスを所持されながら登録されていない会員もおられるため、郵送、FAX

による案内が発生し、会員の増加に伴い事務的な時間が増え苦慮しております。

このためメールアドレスを所持され未登録の方は是非、登録いただくようお願いいたします。

事務作業の効率化のためご協力いただくようお願い致します。

## —堀場OB会ホームページ紹介—

堀場OB会のホームページではクラブ活動をはじめ各種の行事案内、報告を掲載しています。

閲覧件数も18,000件を超え多くの会員の皆様に見ていただいていると思います。

より魅力あるホームページにするために会員の皆様からご意見、ご提案をお寄せ下さい。

### ◆ホームページアドレス

<http://www.h5.dion.ne.jp/~ob-hor/>

### ◆堀場OB会メールアドレス

[horiba.ob@gmail.com](mailto:horiba.ob@gmail.com)

会員の皆様にお届けしている会報は、モノクロ版ですが、ホームページにはカラー版の会報を掲載していますのでご覧下さい。

ホームページの会報閲覧は会員以外の方が閲覧出来ないようにパスワードで保護しています。

閲覧は、トップページの「会報」ボタンをクリックするとパスワード入力画面が表示されますので、下記のパスワードを入力していただくと会報の画面に変わります。

◆会報閲覧パスワード **horibaob**

## 堀場製作所OB会設立15周年記念式典および 第16期堀場製作所OB会年次総会開催について

第16期堀場製作所OB会年次総会を10月6日(木)に開催いたします。今回は、年次総会に続き堀場製作所OB会設立15周年記念式典を併催することになりました。特に記念式典については、場を盛り上げ、認識を深めるため、功労者への感謝やOB会員からの諸作品の展示そして歴史年表等の掲示も実施いたします。

今回は、上記のとおり式典を併せ行うなど、記念すべき節目の総会のため、皆様万障お繰り合わせ

の上ご出席くださる様お願いいたします。

また、平日の行事ながら、現在嘱託雇用のOB会員の方々も会社の全面的なご協力、当式典への参加をあらかじめ承認頂いておりますので、是非ともご参加ください。

第16期年次総会および15周年記念式典の詳細は、会報に同封の「ご案内」および「式次第」をご覧ください。

堀場製作所OB会代表幹事 川越 幹)

## —OB会員の諸行事への参加とご要望等について—

昨今むし暑い日々が続いていますが、OB会員の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。

さて、OB会報やホームページで諸活動の報告をしていますが、参加された方はもちろん、ご覧頂いてどん

なご感想をお持ちでしょうか。

今回OB会設立15周年記念に際して、改めて皆様のご意見ご要望等をお聞きして、まず我々自身が楽しく、そして社会にも貢献できる活動にしてゆきたく、下記カテゴリーについて、参加の促進案とか参加への障害等、その他幅広いご要望、面白い行事の提案等を下記連絡先にどんな方法でも結構ですので、お寄せください。

お寄せ頂きましたご意見、ご提案は、来期の諸活動計画の大切なご資料として、活かしてゆきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

#### カテゴリー

- 1.年次総会について
- 2.教養・レジャー例会について
- 3.ボランティア活動について
- 4.キャリア活動について
- 5.懇親会について
- 6.旅行(一泊、日帰り)について
- 7.その他……どんなことでも結構です。

#### 連絡先

代表幹事 川越 幹 宛て  
〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町  
堀尻6-1-309  
TEL075-958-2475(fax共用)  
メール:kan1221@theia.ocn.ne.jp

## ホリバ・ニュース・やぶにらみアラカルト

◆今年一番の大災害として、3月11日東日本大震災が発生し、福島原子力発電所が大きな被害を受けました。堀場製作所は被災地への支援として、環境放射線モニターPA-1000”ラディ”を持って被災各県庁を訪問し計125台を寄贈しました。堀場製作所の製品が一般の方々にお役に立っているところが、テレビ、新聞等で報道され、OB会員としても心温まるものを感じられたことと思います。

◆2010年度堀場製作所連結決算は、売上高1,185億円、営業利益122億円、当期純利益79億円となり、3年振りの増収増益となりました。これは半導体関係が急回復したことに支えられたことが主要因ですが、他のセグメントでは多くの課題も残しました。

◆2011年の堀場製作所連結業績予想は、売上高1,200億円、営業利益125億円、当期利益純80億円となっています。大震災の影響で先行き楽観はできませんが、「HORIBA Premium～高品質な価値の創造～」グループ経営目標のもと真の実力を発揮する期としています。

◆春のまだ寒い中、第14回JR京都駅大階段駆け上がり大会が行われ、HOR(JOY&FUN)とHTSの2チームが出場しました。この行事も知名度があがるとともに、記録も厳しくなっているものの、HORの大槻さんが女子の部で7位、吉田さんがチーム歴代最高タイムで個人総合6位入賞と大健闘、団体総合では、参加72チーム中、HOR8位、HTS23位と上位入賞しました。OB会員も大いに応援しましょう。

## 編集後記

はじめに、今回の東日本大地震に遭遇されたすべての方々に心からお見舞い申し上げますとともに一日も早く復旧され、より安全なところに生まれ変わることをお祈りします。

予想を遥かに超える大地震が発生したとき、丁度

私たちは会社で幹部会を開催していた時でした。大きなうねりのような揺れが来て、船酔いのような気持が長時間続きました。それが福島県沖を中心に発生した巨大地震とは夢にも思いませんでした。私たちも例外ではありません。日頃の準備には万全を期して



---

ください。

さて、昨年度のOB会年次総会にて、若手の幹事4人が選出されましたが、旧幹事とともに活動を開始して早や半年が過ぎました。既にお知らせの様に、今年10月6日(木)の午後から開催の第16期年次総会と併催する「堀場製作所OB会設立15周年記念式典」の準備を、若手の力を中心に意義のある式典にすべ

く、特別プロジェクトを組んで準備しています。余すところあと約2ヶ月となりましたが、会員の皆さんからも、今までの活動の中で記念になる事柄等がありましたら、ぜひとも編集局にお教え頂きたいと存じます。

また、今回は、節目の総会として、編集局からも全員のご参加をお願いします。

---

\*\*\*\*\*  
\* 堀場製作所OB会 \*  
\* 〒601-8510 \*  
\* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 \*  
\* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 \*  
\* URL <http://wwwh5.dion.ne.jp/~ob-hor> \*  
\*\*\*\*\*